



第 60 回道小教育研究宗谷・稚内大会及び 第 69 回全連小佐賀大会について 報 告

道小教育研究宗谷・稚内大会の参加期待数について説明する。平成 29 年度の会員数は 1046 人となっており、今年度より 13 人減少となる。各地区の参加期待数は、開催地の宗谷地区は会員の 100%、開催地区の第 2 ブロックは、70%、その他の地区は 50% として、端数は四捨五入している。参加期待数の合計は 574 人となっている。ひとつの分科会 44～45 人の構成となっている。

各地区の分科会振り分け人数については、地区の研究発表がある分科会には、地区の参加者の 6 人～7 人割り当てている。その分科会に 20 地区すべての参加者がいることが望ましいのですが、研究発表がある分科会厚く人数を振り分けていることから、参加者が 0 の分科会がどの地区にも出てくる。宗谷・稚内大会の実行委員会では、この参加期待数にもとづいて、予算や会場を確保の準備をしていることから、各地区におかれては、期待数の確保にご協力をお願いしたい。

第 69 回全連小佐賀大会の参加割当数について報告する。

日時は平成 29 年 10 月 12～13 日、開催地は佐賀県佐賀市となっている。分科会の構成については、今年度の高知大会と同様である。

北海道からの発表は、第 4 分科会「知性・創造性」が札幌地区、第 10 分科会「危機対応」が日高地区の担当となっている。よろしくお願いします。

北海道の参加期待数は、会員の 10%にあたる 106 人になっている。各地区 10%の割合で参加人数を割り当てている。四捨五入により参加期待数を求めているが、札幌は会員数が多いので切り上げをして 21 人になっている。各地区の分科会への割り振り人数は、発表のある札幌地区、日高地区は担当の分科会に 3 人割り当てている。また、平成 30 年度函館大会の分科会を想定して、各地区担当の分科会には、3 人の参加人数を割り当てている。各地区で確認をいただき準備をお願いします。

なお、平成 30 年度函館大会に向けて、次期開催地紹介やプレゼン等で開催地函館地区の参加人数や道小事務局の参加人数が増える可能性があることも承知願いたい。